患者さまと井上眼科病院をつなぐ「眼」の情報ペーパー

INOUYE EYE NOTE

No. 132
2025 Spring

ご自由にお持ちください

今月号より
リニューアル!

撮影のためマスクを外しています

医療法人社団 済安堂
井上眼科病院グループ
INOUYE EYE HOSPITAL GROUP

ホームページからも
ご覧いただけます

西葛西･井上眼科病院　院長
溝田 淳

地域の眼科、基幹病院として
患者さまに寄り添い、質の高い医療を提供

が難しい疾患を目の当たりにすることもあります。そのような時でも、患者さまとしっかりと向き合って話し合うこと。そして、難しさを解決すべく勉強や研究を惜しむことなく続けて治療を進めていくことが大切だという考えです。それが、自身のモチベーションやスキルアップにもつながっていきますし、その想いは当院のスタッフにも伝わっていくと信じています。

眼科医としての技術以上に、まずは患者さまのことを考え、想いに寄り添えるかどうか。そこに医師としての基本がありますし、技術は経験を重ねることで蓄積されていくと私は強く思っています。

手術件数は全国トップクラス。最新機器の導入と技術研鑽を継続

当院スタッフは 150 名超、専門分野を持つ眼科医も多く勤務しています。スタッフの多さもさることながら、眼科医が仕事に集中できるようサポートする優秀なメディカルスタッフの存在も特長の一つです。患者さまを中心にそれぞれの専門分野を駆使し、最適な治療を行っていくチーム医療、チームワークが機能していると自信を持っています。

手術や治療に必要な機器についても、最新機種を積極的に導入するようにしています。最近の手術機器は使いやすくなっていて、“スペシャリストだけが使える特別なもの”は少なくなってきています。機械の進歩によって幅広い診療ができるようになったと実感していますので、若い医師でも使いながら経験を積み重ね、スキルアップしています。

また、当院の手術件数は年間白内障 3,500 件以上、網膜硝子体手術 1,000 件以上。ともに日本でも有数の実績を誇ります。この経験と実績を踏まえ、これからも質の高い手術を提供してまいります。

患者さまに向き合い寄り添う頼りになる存在として

1991 年、当院が開院、その後、近隣に 2 つのクリニックが開設されました。2015 年 3 月に、現在の場所に新病院が誕生。今年はリニューアルして 10 年という節目の年です。2 年前、院長に就任した際の第一印象は、「江戸川区の眼科医療を支えている大きな病院」で、それは今も変わっていません。

当院の患者さまは、地元江戸川区の方が大半ですが、東西線沿線ということで、千葉県（浦安市、市川市、船橋市など）からの通院も見られます。江戸川区の人口は約 69 万人（2025 年 2 月現在）。すべてではありませんが、地域の皆様のあらゆる眼疾患に対応できる頼りになる存在でなければと常々、考えています。

そのための取り組みとして、一般眼科外来の他に当院が得意とする網膜硝子体外来、緑内障外来、コンタクトレンズ外来などの専門外来を開設しています。2019 年には、日本の眼科病院として初めて運転外来も開設。眼科疾患の啓発に加えて、当院の取り組みが全国の医療機関にとって少しでもお役に立てればと思っています。

また、江戸川区は子どもの人口も多いことから、近視や遠視、眼位異常などの小児眼科外来をさらに拡充していくつもりです。

すべての治療において患者さまと意思疎通をはかりながら病院としてより良い治療の提供・提案を行い、専門医の紹介、地域医療機関との連携も行っています。

私が眼科医となって 20 年以上。その間、多くの先輩や同僚、勤務先で学び得たことは、患者さまのことをしっかり考えること。つまり、当院グループの基本理念でもある「患者さま第一主義」です。時には解決

10つの専門外来

西葛西・井上眼科病院では、一般眼科の診療に加えて、特定の疾患や領域に応じて10つの専門外来を併設しています。また、眼科以外の病気もお持ちの患者さまに対しては地域のクリニックや総合病院と連携した診療体制を重視しています。井上眼科病院グループの総合力を生かして、眼科のさまざまな専門診療をカバーできるのが強みです。

小児眼科	小児専用のスペースにて新生児から子どもの眼の問題を専門的に診断。主に屈折異常や弱視、斜視などを扱っています。
コンタクトレンズ外来	一般的なコンタクトレンズに加え、乱視用、遠近両用、円錐角膜用など特殊なレンズの検査・処方を行っています。
網膜硝子体外来	網膜剥離などの疾患を対象に、患者さまの負担の少ない小切開硝子体手術、抗VEGF薬注射など最新の治療法を積極的に取り入れています。
黄斑外来 井上 裕治 医師 帝京大学医学部 主任教授	加齢黄斑変性を中心に、網膜の中心部である黄斑部の疾患を診療しています。
角膜外来 山上 聡 医師 日本大学医学部 主任教授	一般的な角膜疾患の治療に加え、難治性の角膜表面疾患の治療も行っています。
緑内障外来 井上 賢治 医師 井上眼科病院 院長	緑内障のタイプに応じて、正確な診断と最適な治療を提供しています。早期発見・早期治療を目指し、視機能を維持するための診察を行っています。
運転外来 國松 志保 医師 西葛西・井上眼科病院 副院長	ドライビングシミュレータを使用して視野障害（見える範囲）と運転能力の関係を評価・アドバイスする外来です。
眼炎症・ぶどう膜炎外来 堀 純子 医師 日本医科大学医学部教授	難治性の眼炎症疾患（ベーチェット病、サルコイドーシス、Vogt-小柳-原田病、強膜炎）に対し、専門的な検査と治療を提供しています。
神経・眼瞼けいれん外来 河本 ひろ美 医師 井上眼科病院	「眼瞼けいれん」や「顔面けいれん」を対象に、疾患の原因となる神経の働きを抑えるボトックス治療を行っています。
ロービジョン外来 鶴岡 三恵子 医師 井上眼科病院	ロービジョンケア拠点眼科医療施設として、視機能の評価、身体障害者手帳の申請、補助具の選定などを行っています。

NISHIKASAI INOUYE

働きやすい環境を整えることも地域医療の貢献につながっていく

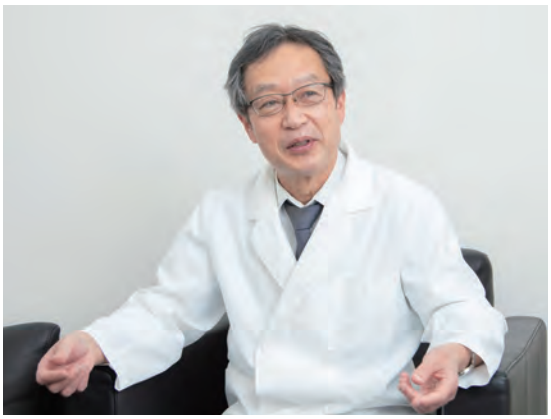
眼科疾患における地域の基幹病院として、今後、当院が取り組みたいことはいくつかあります。

まずは、スタッフの体制強化です。患者さまに丁寧でより質の高い医療を提供するためには、医師やスタッフの充実を図りたいと思っています。そのために院長として考えていることは、スタッフにとって働きやすい環境であり、長く勤めたいと思える職場にしていくこと。そして、スタッフ間の仲違いがなく、風通しの良い組織となるよう様々な制度も整備していくつもりです。

提供する医療については、最新の治療はなるべく早期に取り入れていき、当院の眼科医も対応できるようにしていきたいです。最近、レーシック、ICL（眼内コンタクトレンズ）など近視治療に関する自由診療のニーズも高くなってきています。お茶の水をはじめグループ全体で連携して、患者さまの要望にお応えできたらと考えています。

手術件数がすべてではありませんが、患者さまの病院選びの参考になればと考えております。ですから、手術件数もこれまで以上に増やしながら、全国トップクラスを目指していきます。

これからも頼りになる地域の眼科病院として、患者さまにしっかりと向き合っていきます。そのために最先端の医療を追求しながら、質の高い医療の提供に向けて努力を重ねてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



1984年千葉大学医学部。帝京大学眼科学講座主任教授などを経て2023年に西葛西・井上眼科病院院長就任。
専門は網膜硝子体疾患、眼腫瘍。外部委員に日本眼科学会 評議員、日本神経眼科学会 理事、日本眼腫瘍学会 理事ほか。

数字で見る 10年の軌跡

「患者さまに優しい病院」をモットーに掲げて歩んできた10年。多くの方に支えられ、地域医療に貢献してまいりました。患者さま一人ひとりに寄り添い、どのような医療を心がけてきたか。日々の積み重ねを病院の数字から紐解いてみました。

4.6万件 手術

眼科手術の基幹病院として

江戸川区を中心に23区東部・千葉エリアの急性期治療・高度な手術を提供してきました。白内障の手術はこの10年間で3.2万件以上を執刀しています。また、高度な技術が求められる網膜硝子体の手術は年間1,000件ほど行い、井上眼科病院グループの「網膜硝子体センター」として、すぐに手術に対応できる体制に。実は日本トップクラスの実績を誇ります(※)。

※厚生労働省「DPC導入の影響評価に関する調査」

西葛西はグループでいち早く3D手術システムを導入するなど、常に最新機器を導入して、難症例の手術に対応してきました。

118万人 外来

地域に頼られる病院を目指して

新病院は、どなたでも快適に通院できるよう、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、最新の設備を備えた施設として誕生しました。一般眼科に加え、小児眼科やコンタクトレンズ外来、各疾患に特化した専門外来を併設。ファミリー層の多い江戸川区エリアにて、赤ちゃんから大人まで幅広い世代の目の健康を支えてきました。

音・光・感触などを活用し「人の感覚で分かるユニバーサルデザイン」を導入。快適性やデザインが高く評価され、医療福祉建築賞などを受賞しました。

6.9万人 入院

患者さまに優しい病院として

長期入院の方も快適に過ごして頂けるよう、入院スペースは広めに作られました。

眼科病院として32床の病室を完備。現在では年間6,000人以上の患者さまが入院されています。「見えにくさ」をよく理解したメディカルスタッフが、術後の健康管理や入院生活のサポート、入院に関するご相談に応じています。患者さま一人ひとりに寄り添い、安心して治療を受けられる環境づくりに努めています。

アート作品

西葛西の病院には数々のアート作品もあるんです!

①成田空港や東京ミッドタウンなどのアート作品を手掛ける和紙インテリアデザイナーの堀木エリ子氏による作品。巨大なオリジナルの和紙で制作されました。②代表作に十和田市現代美術館のロゴやホテルオークラ東京のタイル作品などがある東泉一郎氏が制作。すりガラスの中に波のイメージや海の生き物などが描かれています。

『光彩』

①

『海の生き物』

②

③鹿島建設や池袋のサンシャインシティ・アルパなどのロゴを制作するグラフィックデザイナーの三浦滉平氏と小児の患者さまとの共同作品

『ぼく・わたしのすきな　うみのいきもの』

③

第36回

同門会だより

全国で活躍中の井上眼科OB・OGの先生をご紹介

さいき眼科

齋木 裕 院長

1997年～2013年　西葛西・井上眼科病院在籍
2003年～2013年　西葛西・井上眼科病院在籍　副院長
2014年7月～　さいき眼科　院長

大宮駅より徒歩15分。医療モールの2階です

当院の井上(左)と齋木院長(右)

今回ご紹介するのは、埼玉県さいたま市の「さいき眼科」院長 齋木裕先生です。在籍中、齋木先生は西葛西・井上眼科病院の副院長として、白内障・網膜硝子体疾患を中心に幅広い治療にあたられていました。現在も同院で一般眼科外来を担当し、涙道内視鏡手術や涙嚢鼻腔吻合術などの専門治療を行っています。「井上眼科には各分野の専門医がおり、何かあればすぐに相談することが出来ました。特に竹内忍先生、山崎守成先生には診療・手術のみならず、眼の病気や患者さまへの姿勢を学ばせていただきました」(齋木院長)。

齋木先生はこれまで多数の手術を執刀。その豊富な臨床経験をもとに、眼科全般の疾患を診察しています。特に涙道治療においては、涙道内視鏡も導入、県内でまだ少ない涙目の治療にも力を入れています。「井上眼科で培った経験を活かし、眼科一般診療から、白内障など各種日帰り手術を行っております。皆様が安心して受診できる医療の提供、丁寧な診察とわかりやすい説明を心がけ、目の健康をサポートできるように心掛けております。お気軽にご相談ください」(齋木院長)。

クリニック情報

さいき眼科

〒330-0804
埼玉県さいたま市大宮区堀の内町
1-330 ハートフル大宮ビル202号室

TEL 048-783-5815

https://r.goope.jp/saiki-eye/

＼教えて！石原さん!!／
ロービジョンを
もっと知ろう

第1回

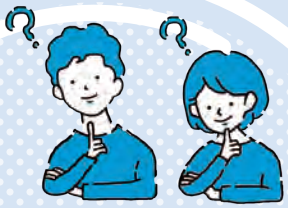
「ロービジョン」ってなんですか?

井上眼科病院
ITサポート担当　石原純子

ロービジョン外来で視覚障害者に対するIT機器の紹介や相談などを対応。自身も網膜色素変性を発症し、当事者の視点でサポートを行う。

視力が悪いだけではない！ロービジョンの多様な症状

言葉だけ聞くと「視力が悪いこと」というイメージをお持ちかもしれません。しかし、ロービジョンの症状は視力低下だけでなく、視野の障害(見える範囲が狭い・欠ける)や色覚の異常、光を眩しく感じるなど多様です。また、全く見えない状態(全盲)や眼鏡などで視力矯正できる状態とも異なります。日本ロービジョン学会では「視覚に障害があるため生活に何らかの支障をきたしている状態」と広く定義。症状や困りごとは人それぞれ違うため、日常生活での不便さも十人十色。そのため、一人ひとりの声に耳を傾け、その人に合った支援が大切になってきます。



ワンポイントメモ

情報の80％は視覚からと言われます。ロービジョンは「情報障害」の状態であり、その解消がロービジョンケアの要です!

ロービジョンとは?

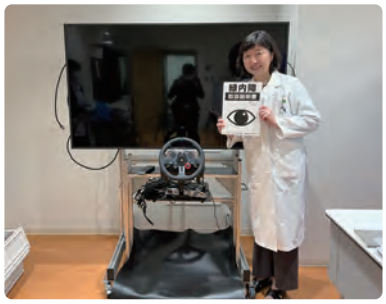
「見え方」に問題があり、日常生活に支障をきたす状態。見えにくさの程度は人それぞれ異なりますが、医療や福祉など幅広い支援が必要です。困ったときは主治医に相談を。

INFORMATION

西葛西

國松副院長が NHK「トリセツショー」に出演しました

2月20日、NHK「あしたが変わるトリセツショー」に國松志保副院長（西葛西・井上眼科病院）が出演いたしました。「緑内障」をテーマにした特集にて、緑内障患者が運転中にどのように見えているか、運転外来のドライビングシミュレータを使った事例を解説いたしました。また受診後の追跡調査の結果として、視野の欠けを自覚することで運転状況に変化が生じていることを説明。安全運転に向けて、緑内障による「見えづらさ」を患者本人が自覚し、理解を深めることの重要性をお話いたしました。



國松先生をはじめ、視能訓練士など運転外来のスタッフ総出で取材に協力いたしました！

お茶の水

2月より根本蒼医師が入職しました

ごあいさつ

患者さまとの信頼関係を築き、安心して治療を受けていただける環境づくりを大切にしています。そのために患者さまがご自身の病状や治療方針を十分に理解し、納得できるよう努めてまいります。医学は日々進歩しているため、常に最新の知識と技術を学び続けることも欠かせません。最善の医療を提供するために、自らの成長を怠らず、誠実に向き合うことを心がけています。どうぞよろしくお願いいたします。

根本（ねもと） 蒼（そう） 医師

世界緑内障週間の「ライトアップinグリーン運動」に参加しました

今年も世界緑内障週間（3/9～15）の「ライトアップinグリーン運動」に参加いたしました。当院グループはこの運動に 2017 年から参加しており、お茶の水・西葛西・札幌の３施設でライトアップを実施しています。世界緑内障週間は2008年から病気の啓発を目的に毎年3月に行われる国際的なイベントです。日本でも 2015 年から病院や公共施設を中心にライトアップの活動がスタートし、現在では1,500件以上の施設が参加しています。今年のメッセージは「早期発見・継続・希望　40歳を過ぎたら眼の定期検診を！」。より多くの人が緑内障を知る機会になるように願いを込めて、緑の光をお届けいたしました。

緑内障とは…

視神経がダメージを受け視野が欠けていく病気。40歳以上の20人に1人が発症し、中途失明の主な原因となっています。9割の人に自覚症状がないと言われており、気づいた時には症状が進行している場合が多いため、早期発見・早期治療が大切です。

井上眼科病院

西葛西・井上眼科病院

札幌・井上眼科クリニック

今回挑戦する料理は…

アスパラガーリックシュリンプ

時間 15分（寝かせる時間を除く）　難易度 ★☆☆☆☆

《材料》2人分
- ムキエビ…120ｇ
- アスパラガス…120ｇ
- にんにく…1片
- 乾燥バジル…少々
- オリーブオイル…大さじ2
- 塩…少々
- こしょう…少々
- 乾燥パセリ…少々
- 粗挽きブラックペッパー…少々

過去レシピはこちらから

管理栄養士の中井さん考案

目の健康レシピ

新生活が始まる季節になりました。今回は忙しい毎日に備えてストレスに対抗する目によいレシピをご紹介いたします。

《作り方》

❶エビの背ワタを取り、ボールに入れる。片栗粉大さじ1(分量外)、水大さじ1、塩少々を加え揉み、流水で洗い水気を拭く。❷アスパラは根元を落とし、下1/3の皮をむき3〜4cmの斜め切りに。軽くボイルし冷ます。にんにくはみじん切り。❸ボールに①のエビ、②のにんにく、乾燥バジル、オリーブオイル大さじ1、塩少々を入れ揉み、冷蔵庫で30分寝かせる。❹フライパンにオリーブオイル大さじ1を熱し、③を炒める。❺エビに8割火が通ったら②を加え炒める。❻塩・こしょうで調え、エビに火を通す。❼皿に盛り、乾燥パセリ、粗挽きブラックペッパーを振る。

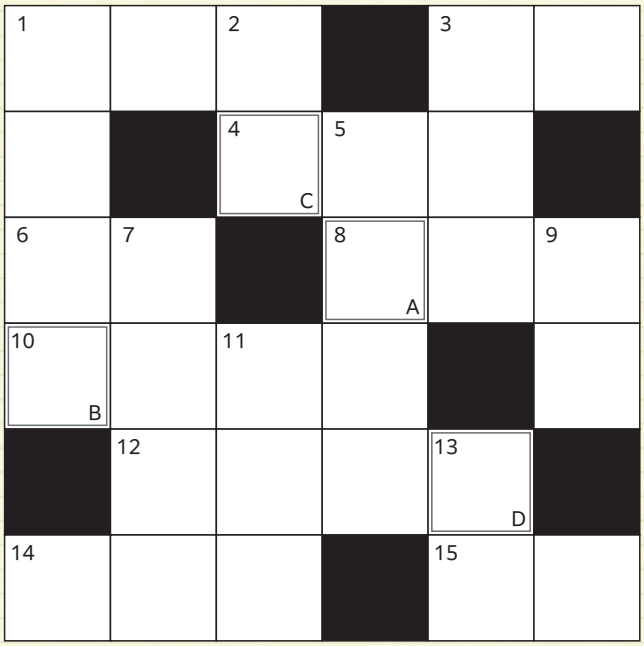
《栄養成分値》1人分
- たんぱく質13.9ｇ
- 脂質16.4ｇ
- エネルギー228kcal
- 炭水化物7.6ｇ
- 塩分0.48ｇ

EYE'S POINT!

アスパラとエビはストレス対策や目に良い栄養素を含んでいます。アスパラのビタミンC・Eは抗酸化作用があり、老化防止や眼病予防に効果的。「アスパラギン酸」は疲労回復を助けます。エビの「アスタキサンチン」は眼精疲労の予防・回復に役立ち、油脂や殻付き調理で吸収率が高まります。

レシピ考案…栄養課　中井剛(西葛西・井上眼科病院)

「目」のクロスワードパズル



タテのカギ
1 Sは塩、ではPは何？
2 干支の７番目
3 まだ結婚していません
5 自分より後に生まれた女の子
7 入院中の人に会いにいくこと
9 疲れて目の下に表れる動物
11 肉厚の干しシイタケのこと
13 フランス語でマロン

ヨコのカギ
1 門前の、膝、腕白
3 障子に目ありなら壁には何がある？
4 京都の街で、だらりの帯とぽっくりを履きます
6 婿さんのパートナー
8 相手に対する不平や苦情のこと
10 ダイエットや健康に、した方が良いそうです
12 現場の最高責任者
14 ジャンケンで同じのが出た
15 お金を貸しても借りても付きます

A	B	C	D

答え　目の奥にある、光を感じる神経組織

読者アンケートにお答えいただくと抽選で5名様に当院オリジナルのノベルティを差し上げております。応募締切 2025年6月30日(月)まで

QRコードを読み取ってご応募ください

いつの時代も最先端の眼科医療を

Advanced medical care for all generations

JR御茶ノ水駅より徒歩1分

井上眼科病院
お茶の水・井上眼科クリニック

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-3
新お茶の水ビルディング（総合受付:19階）
代表電話:03-3295-0190 予約電話:03-3295-0923

西葛西駅より徒歩4分

西葛西・井上眼科病院

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-12-14
TEL:03-5605-2100

JR大宮駅より徒歩3分

大宮・井上眼科クリニック

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1
ベルヴュオフィス大宮3階
TEL:048-871-8471

大通駅37番出口直結

札幌・井上眼科クリニック

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西1丁目1
札幌シャンテ1階・地下1階
TEL:011-200-3755

▶ 基本理念

■ **患者さま第一主義**
患者さまの立場を考えて診療を行う

■ **実証医学（EBM）に基づいた検査と治療**
眼の病気について眼科学の基本に基づいて検査し、その原因を追究して治療する

■ **「眼」の総合病院の確立**
眼に関するすべてのことを取扱う、「眼」の総合病院を確立する

▶ 基本方針

■ 患者さま第一主義の徹底的実践
■ 地域医療と病診連携の充実
■ 都心にある眼科専門病院の特異性への対応
■ 患者さま向けの情報提供と相談の充実

▶ 患者さまの権利と責任

1. **自分の病気・治療の内容を知る権利（セカンド・オピニオンを含む）**
病名、症状、検査結果、予後、診療計画、処置や手術、薬の名前や作用・副作用などについて、納得できるまで説明を受ける権利。
他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を、聞くことができる権利。

2. **治療方法や検査を選択・拒否する権利**
納得できるまで説明を受けた後、医療従事者の提案する診療計画などを自分で決定する権利。

3. **自分の情報が保護される権利**
個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利。

4. **自分に必要な情報を知る権利**
病気やその療養方法および保健・予防・福祉などについて学習する権利。

5. **いつでも人格が尊重され、必要かつ十分な医療サービスを平等に受ける権利**

6. **患者さま自らが、医療従事者と共に力を合わせて、これらの権利をまもり発展させる責任**

医療法人社団 済安堂
井上眼科病院グループ
INOUYE EYE HOSPITAL GROUP

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-3
新お茶の水ビルディング18階
https://www.inouye-eye.or.jp/